

安全第一

—— 平成 30 年度事故発生状況報告書 ——

公益社団法人 香川県シルバー人材センター連合会

はじめに

わが国は急速な少子高齢化が進行し、長期の人口減少傾向が続いております。こうした中、社会の活力を維持し、持続的な成長を実現するため、「自主・自立、共働・共助」の基本理念の下、シルバー人材センターが、地域社会の担い手として大きな期待が寄せられております。

しかし、多くの会員が就業することに伴って、毎年、数多くの事故が発生しています。会員が安全・安心に就業できる環境を整備するとともに、会員一人ひとりが、安全就業について自覚と責任をもち、安全就業に努めることが肝要です。

昨年は事故^{ゼロ}を目指すため安全就業推進大会を開催して

“お互いに 声かけ合って 安全就業”

(第 12 回安全就業推進大会 安全就業標語最優秀作品)

をスローガンに、「毎月 10 日」を安全の日と定めて、作業前の一声運動や保安帽・安全帯の着用運動などを展開しているところです。

この冊子は、安全就業推進の一助として、平成 30 年度の傷害事故、損害賠償事故の実態や特徴などを取りまとめたもので、会員一人ひとりが、安全就業についての取組み方法などについて振り返っていただくとともに、「自分の安全は、自分で守る」という意識を持ち、安全就業に一層努められることを願って作成したものです。

安全就業に役立てていただければ幸いと存じます。

令和元年 7 月

公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会
会 長 佐 保 光 宥

目 次

1. 傷害事故発生状況の概要	
(1) 事故発生状況 -----	1
(2) 職群別事故発生状況 -----	1
(3) 型別事故発生状況 -----	2
(4) 部位別事故発生状況 -----	2
(5) 四半期別事故発生状況 -----	3
2. 損害賠償事故発生状況の概要 -----	3
3. 平成 30 年度傷害事故発生状況	
(1) 年齢別・性別状況 -----	4
(2) 職群別状況 -----	4
(3) 型別状況 -----	5
(4) 部位別状況 -----	5
(5) 症状別状況 -----	6
(6) 月別状況 -----	7
(7) センター別状況 -----	8
4. 平成 30 年度損害賠償事故発生状況	
(1) 仕事の内容 -----	9
(2) 事故の型 -----	9
(3) 月別状況 -----	9
5. 平成 30 年度事故事例	
(1) 傷害事故事例 (就業中) -----	10
傷害事故事例 (途 上) -----	12
(2) 損害賠償事故事例 -----	13
6. シルバー派遣事業事故事例	
(1) 傷害事故事例 -----	15
(2) 損害賠償事故事例 -----	15
7. センター別シルバー保険契約状況	
(1) 種類、負担方法、契約先 -----	16
(2) 保険料、給付総額 -----	17
8. 「シルバー安全の日」実施要綱 -----	18
9. 安全就業表彰規程 -----	19
10. 安全就業の心得 -----	20
11. 平成 30 年度安全就業の取組み -----	21
12. 安全に関するビデオ・DVD -----	24

—利用上の注意—

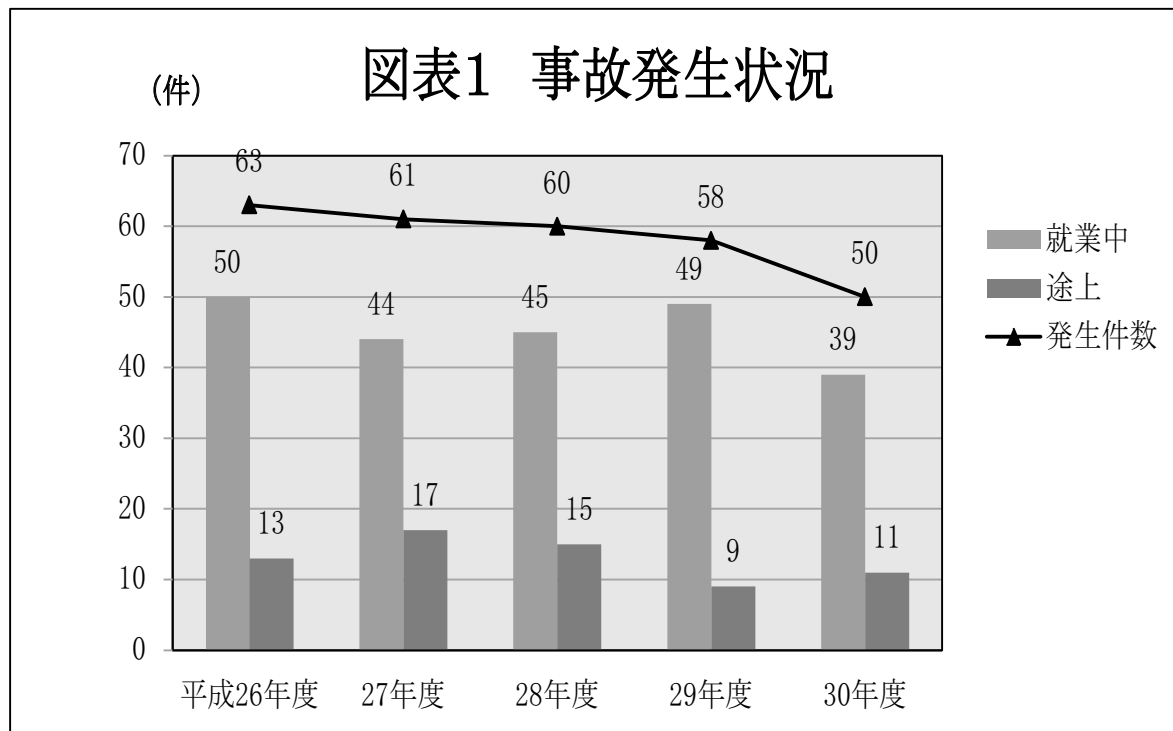
文中のパーセント(%)は、小数点第2位を四捨五入したものをを用いたので
合計が100%にならない場合がある。(事故件数は年度統計の数値)

1. 傷害事故発生状況の概要

(1) 事故発生状況

事故件数は26年度以降僅かではあるが年々減少し30年度は50件となった。

事故を就業中・途上別にみると29年度に比べ「就業中」が10件減少し、「途上」が2件増加した。



(2) 職群別事故発生状況

職業分類が平成28年度から新分類（厚生労働省職業分類）となり従来の「一般作業群」に含まれていた、清掃、除草・草刈りが「運搬・清掃・包装等の職業」に、「管理群」に含まれていた建物管理が「サービスの職業」に、「技能群」に含まれていた植木の剪定が「農林漁業の職業」に含まれるようになった。

職群別の事故発生状況をみると、30年度も「運搬・清掃・包装等の職業」が最も多く全体の62%を占めている。次いで「農林漁業の職業」となっている。この2つで全体の86%を占めている。

図表2 職群別事故発生状況

項目	技能群		管理群		一般作業群		サービス群		その他		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
平成26年度	14	22.2	2	3.2	45	71.4	1	1.6	1	1.6	63	100.0
平成27年度	18	29.5	6	9.8	32	52.5	4	6.6	1	1.6	61	100.0

項目	事務的職業		販売の職業		サービスの職業		農林漁業の職業		生産工程の職業		建設・採掘の職業		運搬・清掃・包装等の職業		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
平成 28 年度	1	1.7	1	1.7	6	10.0	13	21.6	1	1.7	0	0	38	63.3	60	100
平成 29 年度	0	0	1	1.7	6	10.3	19	32.8	3	5.2	1	1.7	28	48.3	58	100
平成 30 年度	0	0	0	0	5	10.0	12	24.0	2	4.0	0	0	31	62.0	50	100

(3) 型別事故発生状況

事故を型別にみると、「転倒」による事故が最も多く全体のおよそ3件に1件の割合で発生している。次いで「墜落・転落」「交通事故」による事故が多い。

「転倒」については屋内、屋外作業にかかわらずあらゆる作業中に発生しているが、「墜落・転落」については、特に除草作業中や植木・造園工事等の剪定作業中に多く発生している。

図表 3 型別事故発生状況

項目	墜落・転落		転倒		切れ・こすれ		交通事故		蜂・犬等		飛来・落下		その他		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
平成 26 年度	15	23.8	16	25.4	4	6.3	7	11.1	6	9.5	3	4.8	12	19.0	63	100.0
平成 27 年度	14	23.0	17	27.9	4	6.6	9	14.8	1	1.6	3	4.9	13	21.3	61	100.0
平成 28 年度	10	16.7	19	31.7	5	8.3	10	16.7	3	5.0	3	5.0	10	16.7	60	100.0
平成 29 年度	17	29.3	13	22.4	6	10.3	8	13.8	5	8.6	1	1.7	8	13.8	58	100.0
平成 30 年度	10	20.0	14	28.0	5	5.0	9	18.0	2	4.0	3	6.0	7	14.0	50	100.0

(4) 部位別事故発生状況

事故を部位別にみると、「脚部」の部位が多い。次いで「手首・手指」「頭部・顔」「足首・足指」の順となっている。また、その他の中には、「肩部」が6件ある。「脚部」「肩部」の原因の多くは、交通事故によるものである。

また、「脚部」の部位の事故の多くは、「転倒」によるものである。

図表 4 部位別事故発生状況

項目	頭部・顔		胸部・背中		腰部・臀部		腕部		手首・手指		脚部		足首・足指		その他		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
平成 26 年度	4	6.3	6	9.5	9	14.3	3	4.8	10	15.9	13	20.6	9	14.3	9	14.3	63	100.0
平成 27 年度	8	13.1	7	11.5	4	6.6	2	3.3	11	18.0	10	16.4	8	13.1	11	18.0	61	100.0
平成 28 年度	4	6.7	6	10.0	7	11.7	3	5.0	5	8.3	16	26.7	9	15.0	10	16.7	60	100.0
平成 29 年度	6	10.3	8	13.8	7	12.1	3	5.2	14	24.1	11	19.0	5	8.6	4	6.9	58	100.0
平成 30 年度	6	12.0	3	6.0	4	8.0	1	2.0	8	16.0	10	20.0	5	10.0	13	26.0	50	100.0

(5) 四半期別事故発生状況

年間を通じて四半期とも発生しているが、植木等の剪定作業は、「10～12月」の繁忙期以外にも発生している。事故全体は、29年度に増加していた「10～12月」が減少し、「7～9月」は増加した。最近は、清掃作業に従事している女性会員の転倒事故が、時期に無関係に多発傾向である。

図表5 四半期別事故発生状況

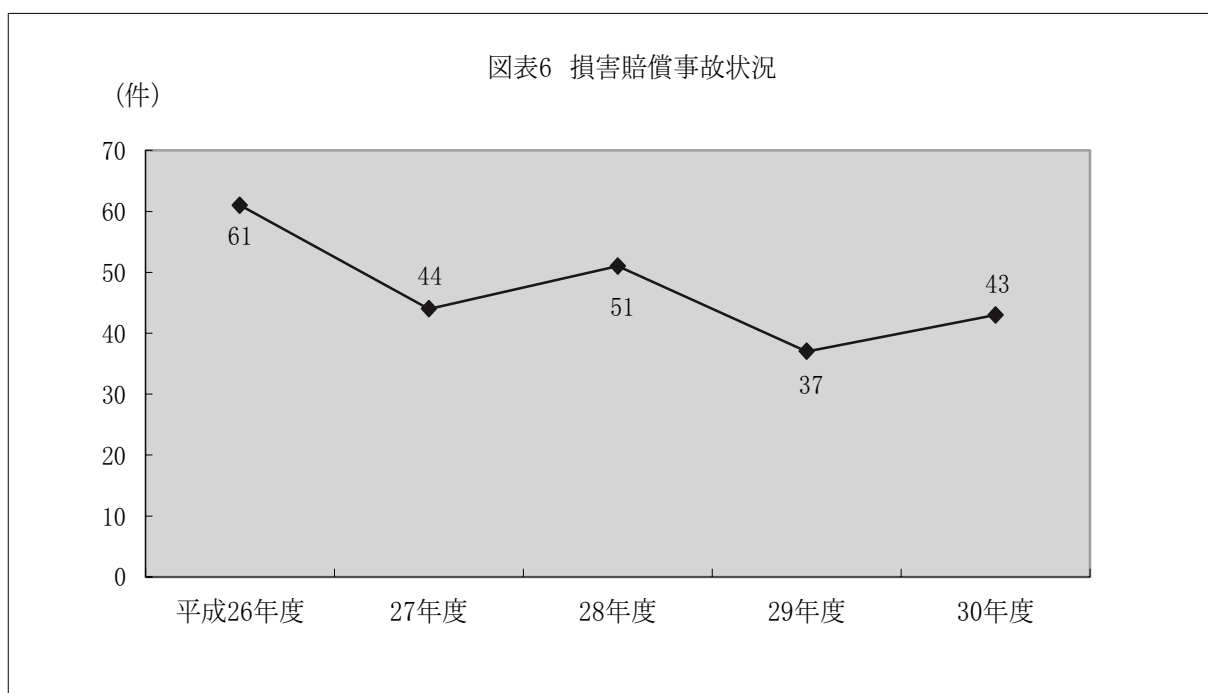
項目	4～6月		7～9月		10～12月		1～3月		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
平成26年度	11	17.5	20	31.7	26	41.3	6	9.5	63	100.0
平成27年度	13	21.3	18	29.5	14	23.0	16	26.2	61	100.0
平成28年度	13	21.7	22	36.7	17	28.3	8	13.3	60	100.0
平成29年度	14	24.1	13	22.4	16	27.6	15	25.9	58	100.0
平成30年度	13	26.0	16	32.0	11	22.0	10	20.0	50	100.0

2. 損害賠償事故発生状況の概要

26年度に61件まで増加していた事故件数が、29年度には37件まで減少していたが、30年度には6件多い43件発生した。

事故を仕事の内容でみると、除草・草刈り34件、植木・造園工事3件でこの2つで全体の8割強を占めている。

また、事故の型別では「飛散させた物で損壊」が30件で、全体の事故件数の約7割を占めている。



3. 平成 30 年度傷害事故発生状況

(1) 年齢別・性別状況

事故を年齢別にみると、「70～74 歳」が 17 件（34.0%）と最も多く、次いで「65～69 歳」が 11 件（22.0%）、「75～79 歳」と「80 歳以上」が共に 10 件（20.0%）の順になっている。

事故を性別でみると、男性が 35 件（70.0%）、女性が 15 件（30.0%）となっている。

図表 7 年齢別・性別事故発生状況

項 目	男 性		女 性		計	
	実数(人)	%	実数(人)	%	実数(人)	%
60～64 歳	2	5.7			2	4.0
65～69 歳	9	25.7	2	13.3	11	22.0
70～74 歳	12	34.3	5	33.3	17	34.0
75～79 歳	6	17.1	4	26.7	10	20.0
80 歳以上	6	17.1	4	26.7	10	20.0
計	35	100.0	15	100.0	50	100.0

(2) 職群別状況

事故を職群別にみると、「運搬・清掃・包装等の職業」が 31 件（62.0%）で、次いで「農林漁業の職業」が 12 件（24.0%）、「サービス業の職業」5 件（10.0%）となっている。これらの中でも、「除草作業」「植木・造園工事」の事故が多い。

事故を就業中・途上別にみると、「就業中」は 39 件（78.0%）で、「途上」は 11 件（22.0%）となっている。

図表 8 職群別事故発生状況

項 目	事 故 者 数					
	就 業 中	%	途 上	%	計	%
販 売 の 職 業						
サ ー ビ ス の 職 業	1	2.6	4	36.4	5	10.0
農 林 漁 業 の 職 業	12	30.8			12	24.0
生 産 工 程 の 職 業	2	5.1			2	4.0
建 設 ・ 採 掘 の 職 業						
運搬・清掃・包装等の職業	24	61.5	7	63.6	31	62.0
計	39	100.0	11	100.0	50	100.0

(3) 型別状況

事故を型別にみると、「転倒」が14件(28.0%)と最も多く、次いで「墜落・転落」が10件(20.0%)、「交通事故」が9件(18.0%)の順になっている。

事故を程度別にみると、30年度は「死亡」が2件、「後遺」が4件、「入院」が18件、「通院」が26件となっている。

図表9 型別事故発生状況

項目	実事故者数							計	%
	就業・途上別		事故の程度別						
	就業中	途上	死亡	後遺	入院	通院			
墜落・転落	10		1	1	6	2	10	20.0	
転倒	12	2			6	8	14	28.0	
激突	2					2	2	4.0	
飛来・落下	2	1	1			2	3	6.0	
はさまれ・巻込まれ									
切れ・こすれ	5			1		4	5	10.0	
高温・低温の物との接触	1					1	1	2.0	
交通事故	1	8		1	6	2	9	18.0	
蜂、犬、蛇等に刺され、噛まれ	2					2	2	4.0	
動作の反動・無理な動作	3			1		2	3	6.0	
その他	1					1	1	2.0	
計	39	11	2	4	18	26	50	100.0	

(4) 部位別状況

事故を部位別にみると、「脚部」が10件(20.0%)と最も多く、次いで「手首・手指」が8件(16.0%)、「頭部・顔」と「肩部」が共に6件(12.0%)、「足首・足指」が5件(10.0%)の順になっている。

事故を程度別にみると、「死亡」が2件も発生している。

図表 10 部位別事故発生状況

項 目	実 事 故 者 数							計	%
	就業・途上別		事 故 の 程 度 別						
	就業中	途上	死亡	後遺	入院	通院			
頭 部 ・ 顔	5	1	1	1		4	6	12.0	
目 ・ 眼 球									
首 ・ 頸 椎	2	1		1	1	1	3	6.0	
胸 部 ・ 背 中	1	2		1		2	3	6.0	
腰 部 ・ 臀 部	3	1			3	1	4	8.0	
肩 部	3	3			5	1	6	12.0	
腕 部	1					1	1	2.0	
手 首 ・ 手 指	7	1		1	1	6	8	16.0	
脚 部	8	2			4	6	10	20.0	
足 首 ・ 足 指	5				3	2	5	10.0	
全 身	1					1	1	2.0	
半 身 (上 下 左 右)									
そ の 他	3		1		1	1	3	6.0	
計	39	11	2	4	18	26	50	100.0	

(5) 症状別状況

事故を症状別にみると「骨折・ひび」が 28 件 (56.0%) と最も多く、次いで「裂傷・咬傷」が 4 件(8.0%)、「打撲」と「切傷・擦傷」が共に 3 件 (6.0%) の順になっている。

事故を程度別にみると、「転倒」「墜落、転落」して「骨折・ひび」になると、「入院」になる場合が多く、また、「打撲」になると「通院」になる場合が多い。

図表 11 症状別事故状況

項 目	実 事 故 者 数							計	%
	就業・途上別		事 故 の 程 度 別						
	就業中	途上	死亡	後遺	入院	通院			
骨 折 ・ ひ び	21	7		1	17	10	28	56.0	
打 撲	1	2			1	2	3	6.0	
捻 挫		1				1	1	2.0	
四肢などの切断	2			1		1	2	4.0	
組織損壊・圧壊		1	1				1	2.0	
裂 傷 ・ 咬 傷	4					4	4	8.0	
切 傷 ・ 擦 傷	3			1		2	3	6.0	
刺 傷	2					2	2	4.0	
皮膚の炎症	2					2	2	4.0	
耳・鼻・咽喉・歯・口腔 の 傷 害	1					1	1	2.0	
肉 離 れ ・ 腱									
関節・筋肉の炎症									
毒物中毒・感染症	1					1	1	2.0	
神経系の損傷	1			1			1	2.0	
そ の 他	1		1				1	2.0	
計	39	11	2	4	18	26	50	100.0	

(6) 月別状況

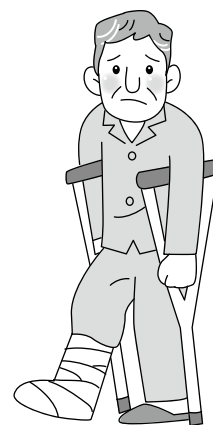
事故を月別にみると、「8月」と「10月」が共に7件（14.0%）と最も多く、次いで「7月」6件の順となっている。

事故の程度を月別にみると「死亡」が「10月」と「2月」に各2件、「後遺」が「10月」に2件、「入院」最多の3件が「4月」「7月」「8月」「1月」に発生しており、また「通院」最多の4件が「5月」「8月」に各4件となっている。30年は、重篤な事故が多発している。

また年間を通して、植木等の剪定作業中や草刈り作業中の事故がやはり多く発生している。

図表 12 月別事故発生状況

項目	実 事 故 者 数							
	就業・途上別		事 故 の 程 度 別				計	%
	就業中	途上	死亡	後遺	入院	通院		
4月	4				3	1	4	8.0
5月	4					4	4	8.0
6月	4	1			2	3	5	10.0
7月	3	3			3	3	6	12.0
8月	6	1			3	4	7	14.0
9月	3				1	2	3	6.0
10月	6	1	1	2	1	3	7	14.0
11月	3			1		2	3	6.0
12月		1				1	1	2.0
1月		3			3		3	6.0
2月	4	1	1	1		3	5	10.0
3月	2				1	1	2	4.0
計	39	11	2	4	17	27	50	100.0



(7) センター別状況

事故をセンター別にみると、29年度に比べ7センターで事故件数が減少する一方、2センターで増加している。

就業延人員に対する事故発生件数（千人日当たり）をみると、10センターで減少する一方、2センターで増加している。県下全体では29年度の0.07に比べて0.01少ない0.06となっている。

全国集計の事故発生件数が0.07と比べても、0.01少なくなっている。しかし、度数率は、1.81ポイント、強度率は2.08ポイントと、共に多くなっている。これは重篤事故件数が影響しているものと思える。今後とも、事故撲滅を目標に安全就業に努める必要があります。

図表 13 センター別事故発生状況

項目	実事故件数					就業延人員千人日当たり事故発生件数				度数率 (%)	強度率 (%)	
	就業中	途上	計	前年比	29年度	就業延人員		件数	前年比			29年度
高松市	9	2	11	0	11	請負	150,770	0.06	-0.01	0.07	14.59	6.42
						派遣	24,214					
丸亀市	5	4	9	-1	10	請負	96,560	0.08	-0.02	0.10	18.64	2.36
						派遣	22,956					
坂出市	0	1	1	-3	4	請負	34,687	0.02	-0.09	0.11	5.77	0.05
						派遣	8,860					
仲善広域	4	2	6	-2	8	請負	93,084	0.05	-0.03	0.08	12.89	5.43
						派遣	24,810					
観音寺市	1	0	1	0	1	請負	34,317	0.02	-0.01	0.03	5.83	0.14
						派遣	6,931					
さぬき市	5	0	5	2	3	請負	51,065	0.09	0.04	0.05	19.58	2.67
						派遣	4,114					
東かがわ市	1	0	1	0	1	請負	34,705	0.02	-0.01	0.03	5.76	0.01
						派遣	8,535					
三豊市	8	2	10	-1	11	請負	57,878	0.16	-0.02	0.18	34.56	0.85
						派遣	4,640					
三木町	2	0	2	-2	4	請負	17,535	0.08	-0.14	0.22	22.81	0.26
						派遣	6,106					
宇多津町	0	0	0	-1	1	請負	20,614	0.00	-0.04	0.04	0.00	0.00
						派遣	1,027					
綾川町	0	0	0	0	0	請負	8,384	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						派遣	5,854					
多度津町	1	0	1	0	1	請負	36,235	0.02	-0.01	0.03	5.52	0.12
						派遣	16,666					
土庄町	3	0	3	1	2	請負	8,152	0.31	0.07	0.24	73.60	0.14
						派遣	1,649					
小豆島町	0	0	0	-1	1	請負	13,795	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						派遣	491					
直島町	0	0	0	0	0	請負	1,914	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						派遣	0					
香川県合計	39	11	50	-8	58	請負	659,695	0.06	-0.01	0.07	15.16	2.88
						派遣	136,853					
						計	796,548					
全国	3,791	866	4,657	-7	4,664	請負	62,671,677	0.07	0.00	0.07	13.35	0.80
						派遣	7,099,317					
						計	69,770,994					

※ 就業延人員千人日当たり事故発生件数=実事故件数÷就業延人員×千人日。

※ 度数率は労働災害の発生頻度を表す数値=実事故件数/(就業延人員×5時間)×百万時間。

※ 強度率は、事故の重篤度合を表す数値=事故指数×(120/365)/(就業延人員×5時間)×千時間。

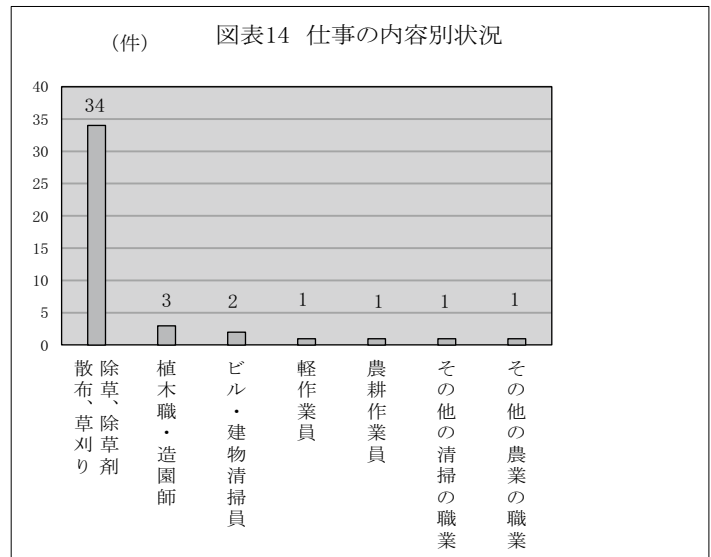
事故指数は休業日数に相当する数値で、死亡件数や後遺障害・入院・通院の受取保険金額で算定。

4. 平成 30 年度損害賠償事故発生状況

(1) 仕事の内容

計 43 件の事故を仕事の内容でみると、除草・草刈りが 34 件（79.1%）と 8 割近く発生して、次いで植木・造園工事が 3 件（7.0%）の順になっており、事故のほとんどが屋外作業である。

また、損害賠償事故に占める、除草、草刈り作業のほとんどが、機械式草刈機使用時に発生している。



(2) 事故の型

事故を型別にみると、「飛散させた物で損壊」が 30 件（69.8%）と全体の 7 割近くを占め、次いで「その他の就業中の損壊」、「落下させて損壊」が共に 4 件（9.3%）の順になっている。

特に、「飛散させた物で損壊」の場合作業場所の周囲の状況の確認不足、防護ネットなしでの刈払機使用による事故が多く発生している。

図表 15 事故の型別状況

事故の型	実数	%
飛散させた物で損壊	30	69.8
その他の就業中の損壊	4	9.3
落下させて損壊	4	9.3
器具・用具を接触させて損壊	3	7.0
倒したり、ぶついたりして損壊	2	4.6
計	43	100.0

(3) 月別状況

事故を月別にみると、「7月」が 10 件（23.3%）と最も多く、次いで「10月」が 8 件（18.6%）、「8月」が 6 件（14.0%）の順になっている。

図表 16 月別状況

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実数	1	2	7	10	6	2	8	1	1	2	1	2	43
%	2.3	4.7	16.3	23.3	14.0	4.7	18.6	2.3	2.3	4.7	2.3	4.7	100.0

5. 平成30年度事故事例

30年度中にシルバー団体傷害保険と総合賠償責任保険の保険金が支払われた事故事例です。

事故は、事前に所要の対策を講じて未然に防がなければなりません。不幸にして事故に至った場合には、直ちに適切な応急処置をとることが大切です。

応急処置が一段落したら、なぜその事故が起きたかについての調査を行わなければなりません。

この事故事例は、事故の原因となった行動を発見するとともに、その背景となった様々な要因を探り出すためにまとめたものです。今後の事故防止に役立ててください。

(1) 傷害事故事例

(就業中)

仕事の分類	事故の型	怪 我		事 故 後				性別	年齢
		部位	症状	死亡	後遺	入院	通院		
その他の家庭生活支援サービスの職業	転倒	脚部	骨折・ひび			○	○	男性	69
農耕作業員	転倒	腰部・臀部	骨折・ひび			○	○	女性	80
	飛来、落下	胸部・背中	骨折・ひび				○	男性	69
植木職、造園師	墜落、転落	首・頸椎	骨折・ひび			○	○	男性	73
	墜落、転落	腰部・臀部	骨折・ひび			○		男性	68
	墜落、転落	肩部	骨折・ひび			○	○	男性	77
	墜落、転落	足首・足指	骨折・ひび			○	○	男性	71
	転倒	脚部	骨折・ひび			○	○	男性	86
	激突	肩部	骨折・ひび				○	男性	80
	切れ、こすれ	手首・手指	裂傷・咬傷				○	男性	70
	切れ、こすれ	脚部	切り傷・擦り傷				○	男性	80
	動作の反動、無理な動作	頭部・顔（目鼻口耳喉を除く）	切り傷・擦り傷		○	○	○	男性	81
	蜂、犬、蛇等に刺され、噛まれ	腕部	皮膚の炎症（火傷・虫さされ等）				○	男性	71
木製製品製造工	切れ、こすれ	手首・手指	四肢などの切断				○	男性	76
	切れ、こすれ	手首・手指	四肢などの切断		○			男性	76

仕事の分類	事故の型	怪 我		事 故 後				性別	年齢
		部位	症状	死亡	後遺	入院	通院		
倉庫作業員	転倒	肩部	骨折・ひび			○		男性	82
ビル・建物清掃員	転倒	脚部	骨折・ひび				○	女性	74
	転倒	足首・足指	骨折・ひび				○	女性	66
ハウスクリーニング作業員	墜落、転落	足首・足指	骨折・ひび			○	○	女性	77
ごみ収集・し尿汲取作業員	有害物等との接触	全身	皮膚の炎症（火傷・虫さされ等）				○	男性	65
その他の清掃の職業	転倒	頭部・顔（目鼻口耳喉を除く）	打撲				○	男性	77
	激突	頭部・顔（目鼻口耳喉を除く）	裂傷・咬傷				○	女性	71
選別作業員	動作の反動、無理な動作	手首・手指	裂傷・咬傷				○	男性	69
軽作業員	転倒	頭部・顔（目鼻口耳喉を除く）	耳・鼻・咽喉・歯・口腔の傷害				○	女性	75
	転倒	足首・足指	骨折・ひび			○	○	男性	80
	動作の反動、無理な動作	手首・手指	骨折・ひび				○	男性	62
他に分類されない運搬、清掃、包装等の職業	転倒	頭部・顔（目鼻口耳喉を除く）	切り傷・擦り傷				○	女性	72
	転倒	脚部	骨折・ひび				○	女性	80
	交通事故（その他）	手首・手指	骨折・ひび			○	○	女性	73
	蜂、犬、蛇等に刺され、噛まれ	その他	毒物中毒・感染症				○	男性	69
除草、除草剤散布、草刈り	墜落、転落	首・頸椎	神経系の損傷（不随を含む）		○	○		男性	69
	墜落、転落	腰部・臀部	骨折・ひび				○	男性	73
	墜落、転落	脚部	骨折・ひび				○	男性	71
	墜落、転落	その他	骨折・ひび			○	○	男性	72
	墜落、転落	その他	その他	○				男性	70
	転倒	脚部	骨折・ひび			○	○	男性	77
	飛来、落下	脚部	刺し傷（踏み抜きを含む）				○	男性	71
	切れ、こすれ	手首・手指	裂傷・咬傷				○	男性	63
	その他	足首・足指	刺し傷（踏み抜きを含む）				○	男性	72

(途上)

仕事の分類	事故の型	怪 我		事 故 後				性別	年齢
		部位	症状	死亡	後遺	入院	通院		
ビル管理人	交通事故（道路）	腰部・臀部	打撲			○	○	男性	71
駐車場・駐輪場管理人	交通事故（道路）	脚部	打撲				○	男性	76
他に分類されないサービスの職業	転倒	手首・手指	骨折・ひび				○	女性	69
駐車場・駐輪場管理人	交通事故（道路）	肩部	骨折・ひび			○	○	男性	67
ビル・建物清掃員	交通事故（道路）	肩部	骨折・ひび			○	○	女性	73
	交通事故（道路）	肩部	骨折・ひび			○	○	女性	81
	交通事故（道路）	脚部	骨折・ひび			○	○	女性	81
その他の清掃の職業	飛来、落下	頭部・顔（目鼻口耳喉を除く）	組織損壊・圧壊	○				男性	72
	交通事故（道路）	首・頸椎	捻挫				○	男性	68
除草、除草剤散布、草刈り	転倒	胸部・背中	骨折・ひび				○	女性	75
	交通事故（道路）	胸部・背中	骨折・ひび		○			女性	76



(2) 損害賠償事故事例

仕事の分類	事故発生年月	保険金受取年月	事故の型	支払われた保険金(円)
農耕作業員	201807	201809	器具・用具を接触させて損壊	3,791
植木職、造園師	201805	201806	落下させて損壊	14,040
	201806	201807	落下させて損壊	12,420
	201902	201903	倒したり、ぶついたりして損壊	31,320
その他の農業の職業	201803	201805	飛散させた物で損壊	186,514
ビル・建物清掃員	201805	201808	落下させて損壊	3,218
	201901	201901	落下させて損壊	756
その他の清掃の職業	201807	201808	倒したり、ぶついたりして損壊	37,800
軽作業員	201901	201902	その他の就業中の損壊	9,440
除草、除草剤散布、草刈り	201803	201805	飛散させた物で損壊	42,066
	201804	201807	飛散させた物で損壊	1,085,000
	201806	201808	飛散させた物で損壊	246,904
	201806	201806	飛散させた物で損壊	35,900
	201806	201807	飛散させた物で損壊	26,028
	201806	201807	飛散させた物で損壊	171,212
	201807	201808	飛散させた物で損壊	37,887
	201807	201809	飛散させた物で損壊	33,296
	201807	201809	飛散させた物で損壊	283,144
	201807	201808	飛散させた物で損壊	36,491
	201807	201808	飛散させた物で損壊	704,800
	201807	201808	飛散させた物で損壊	93,885
	201808	201809	飛散させた物で損壊	106,222
	201808	201812	飛散させた物で損壊	1,941,130
	201808	201810	飛散させた物で損壊	15,380
201808	201809	飛散させた物で損壊	110,031	

仕事の分類	事故発生年月	保険金受取年月	事故の型	支払われた保険金(円)
除草、除草剤散布、草刈り	201808	201809	飛散させた物で損壊	36,504
	201809	201810	飛散させた物で損壊	107,611
	201809	201810	飛散させた物で損壊	24,224
	201810	201811	飛散させた物で損壊	137,660
	201810	201811	飛散させた物で損壊	82,223
	201810	201812	飛散させた物で損壊	155,601
	201810	201810	飛散させた物で損壊	33,480
	201810	201811	飛散させた物で損壊	88,604
	201810	201812	飛散させた物で損壊	90,699
	201810	201811	飛散させた物で損壊	83,042
	201810	201811	飛散させた物で損壊	18,144
	201811	201811	飛散させた物で損壊	14,192
	201812	201903	飛散させた物で損壊	25,272
	201806	201809	器具・用具を接触させて損壊	7,649
	201808	201809	器具・用具を接触させて損壊	8,350
	201806	201807	その他の就業中の損壊	24,404
	201807	201808	その他の就業中の損壊	86,797
	201807	201808	その他の就業中の損壊	25,000

6. シルバー派遣事業事故事例

30年度に発生した事故事例です。派遣事業の拡大とともに事故発生件数も増加しています。

不慮の事故もありますが、ちょっとした注意で避けられる事故もあります。日頃から仕事をするときは、急いだり、あせったり、気を抜いたりせず安全就業に心がけてください。

(1) 傷害事故事例

仕事の分類	事故発生年月日	就業中・途上別	性別	年齢	入院・通院別	事故の型	部位	症状
その他の農業の職業	2018. 11. 20	就業中	男	69	通院	切れ・こすれ	手首・手指	切り傷・擦り傷
その他家庭生活支援サービスの職業	2018. 7. 17	就業中	女	68	通院	激突	半身(上下左右)	打撲
軽作業員	2018. 4. 29	就業中	男	80	入院	転倒	足首・足指	骨折・ひび
駐車場・駐輪場管理人	2018. 9. 29	途上	男	72	入院	転倒	足首・足指	骨折・ひび
調理人	2018. 10. 3	就業中	女	63	通院	切れ・こすれ	手首・手指	切り傷・擦り傷
配達員	2018. 7. 17	就業中	男	70	通院	蜂・犬・蛇等に刺され・噛まれ	眼・眼球	皮膚の炎症(火傷・虫刺され等)
ビル・建物清掃員	2018. 7. 27	就業中	男	72	通院	激突	頭部・顔(目鼻口耳喉を除く)	裂傷・咬傷
ビル・建物清掃員	2018. 11. 13	就業中	女	74	入院	転倒	頭部・顔(目鼻口耳喉を除く)	神経の損傷(不随を含む)
ごみ収集・し尿汲取作業員	2018. 6. 21	就業中	男	73	通院	切れ・こすれ	手首・手指	切り傷・擦り傷
ごみ収集・し尿汲取作業員	2018. 6. 15	就業中	男	70	通院	激突	腹部	骨折・ひび
ごみ収集・し尿汲取作業員	2018. 11. 14	就業中	男	69	通院	飛来・落下	頭部・顔(目鼻口耳喉を除く)	裂傷・咬傷
ごみ収集・し尿汲取作業員	2019. 1. 8	就業中	男	74	通院	激突	肩部	打撲
その他の福祉サービス	2019. 3. 6	途上	女	70	通院	交通事故(その他)	半身(上下左右)	打撲

(2) 損害賠償事故事例

30年度は、派遣事業においても損害賠償事故が発生しております。機械操作等については、常に細心の注意を払う必要があります。

仕事の分類	事故発生年月	保険金受取年月	事故の型	支払われた保険金(円)
除草、除草散布、草刈り	2018. 8. 10	2018. 9. 18	器具・用具を接触させて損壊	178,000
他に分類されない運搬、清掃、包装等の職業	2018. 10. 4	2018. 11. 16	器具・用具を接触させて損壊	75,620

7. センター別シルバー保険契約状況

(1) 種類、負担方法、契約先

センター名	団体傷害保険金額			総合賠償責任保険金額			掛金負担方法	契約保険会社
	死亡後遺障害(万円)	入院1日当(円)	通院1日当(円)	身体1名につき(万円)	身体1事故につき(万円)	財物1事故につき(万円)		
高松市	1,000	3,000	2,000	10,000	10,000	10,000	全額センター	三井住友海上火災
丸亀市	500	3,000	2,000	10,000	10,000	10,000	全額センター	損害保険ジャパン日本興亜
坂出市	900	3,000	2,000	10,000	10,000	1,000	全額センター	三井住友海上火災
仲善広域	900	3,000	2,000	10,000	10,000	10,000	全額センター	三井住友海上火災
観音寺市	1,000	3,000	2,000	3,000	10,000	1,000	全額センター	あいおいニッセイ同和
さぬき市	1,000	4,000	2,500	3,000	10,000	1,000	全額センター	東京海上日動火災
東かがわ市	1,000	3,000	2,000	10,000	10,000	10,000	全額センター	三井住友海上火災
三豊市	1,000	3,000	2,000	3,000	10,000	1,000	全額センター	あいおいニッセイ同和
三木町	1,000	5,000	3,000	10,000	30,000	3,000	全額センター	東京海上日動火災
宇多津町	1,000	3,000	2,000	50,000	50,000	50,000	全額センター	三井住友海上火災
綾川町	600	5,000	3,000	3,000	10,000	1,000	全額センター	東京海上日動火災
多度津町	1,000	3,000	2,000	50,000	50,000	5,000	全額センター	損害保険ジャパン日本興亜 三井住友海上火災(賠償のみ)
土庄町	800	5,000	2,000	3,000	10,000	1,000	一部会員	損害保険ジャパン日本興亜
小豆島町	800	3,000	2,000	3,000	10,000	1,000	一部会員	損害保険ジャパン日本興亜
直島町	600	5,000	3,000	—	10,000	10,000	全額センター	損害保険ジャパン日本興亜 三井住友海上火災(賠償のみ)



(2) 保険料と給付総額

センター名	団体傷害保険			総合賠償責任保険			合計	
	確定保険料 (円)	事故 件数	支払われた 保険金 (円)	確定保険料 (円)	事故 件数	支払われた 保険金 (円)	確定保険料 (円)	支払われた 保険金 (円)
高 松 市	4,112,430	11	20,562,000	2,791,720	2	284,791	6,904,150	20,846,791
丸 亀 市	1,772,820	9	2,840,000	1,529,320	4	145,641	3,302,140	2,985,641
坂 出 市	1,176,520	1	50,000	555,080	14	2,088,909	1,731,600	2,138,909
仲 善 広 域	2,058,400	6	8,929,000	1,301,460	5	2,002,269	3,359,860	10,931,269
観 音 寺 市	920,150	1	198,000	277,600	2	51,871	1,197,750	249,871
さ ぬ き 市	1,696,920	5	3,037,500	588,370	3	230,720	2,285,290	3,268,220
東 か が わ 市	948,000	1	6,000	559,270	2	742,600	1,507,270	748,600
三 豊 市	1,326,450	10	1,763,000	423,620	6	353,241	1,750,070	2,116,241
三 木 町	761,460	2	373,000	362,500	2	112,029	1,123,960	485,029
宇 多 津 町	537,600	0	0	419,260	1	36,504	956,860	36,504
綾 川 町	341,900	0	0	148,320	0	0	490,220	0
多 度 津 町	968,070	1	179,000	636,390	0	0	1,604,460	179,000
土 庄 町	287,000	3	34,000	34,940	1	83,042	321,940	117,042
小 豆 島 町	266,430	0	0	87,040	1	186,514	353,470	186,514
直 島 町	68,380	0	0	19,980	0	0	88,360	0
センター合計	17,242,530	50	37,971,500	9,734,870	43	6,318,131	26,977,400	44,289,631

8. 「シルバー安全の日」 実施要綱

1. 目的

高齢化が進展するなか、シルバー人材センターは「自主・自立、共働・共助」という基本理念の下、高齢者の方々を会員として就業の場を提供することにより、高齢者に「働きがい」「生きがい」を与え、活力ある高齢社会の実現に重要な役割をはたしています。

一方、事業規模の拡大に伴い、会員の就業中及び就業途上の、傷・災害事故は多発しております。

このため、会員が安全、安心に就業できる環境を整備するとともに、会員一人一人が、安全就業について、自覚と責任をもち、安全就業に努めることが肝要であります。

つきましては、安全・適正就業についてより着実な成果を期するため、「シルバー安全の日」を定めて、事故^{ゼロ}を目指すものです。

2. 「シルバー安全の日」

毎月10日を「シルバー安全の日」とする。

3. 取り組む事項

- (1) 交通安全活動の実施
- (2) 巡回パトロールによる安全・適正就業の徹底
- (3) 作業前の健康確認及び安全チェックの徹底
- (4) 保安帽・安全带・保護具の着用の徹底
- (5) 交通安全及び職群・新人・リーダー安全就業講習会の開催
- (6) 事務所や就業現場等における交通安全・安全就業懸垂幕、幟旗等の掲示
- (7) その他安全意識向上のための啓発活動



9. 安全就業表彰規程 平成 20 年 3 月 14 日制定

(趣旨)

第 1 条 この規程は、安全就業について特に寄与したシルバー人材センターの表彰に関し必要な事項を定めるものとする。

(表彰)

第 2 条 表彰は、次に掲げるセンターについて公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会が行う。

- (1) 安全委員会等を設置し、常時会員に安全就業を周知するなど安全就業への取組みが優れていること。
- (2) 過去 3 年以内に安全就業優良センターとして表彰を受けていないこと。
- (3) 入会率が著しく低くないこと。(全シ協表彰基準に準ずる)
- (4) 就業率が高いと認められること。(全シ協表彰基準に準ずる)
- (5) 過去 3 年間に死亡事故等の重篤事故の発生がないこと。
- (6) 過去 3 年間に長期入院及び長期通院を要する事故が極めて少ないこと。

2 当該年度における被表彰センターは、2 センター以内とする。

3 表彰は、表彰状に副賞を添えて授与する。

(連合会長の表彰)

第 3 条 この規程に基づき、表彰することが適当と認められるセンターを、安全・適正就業委員会で検討し、理事会に諮り決定する。

(表彰の方法)

第 4 条 表彰は、毎年度、定時総会（安全就業推進大会が開催される年度は当該大会）において行う。

(その他)

第 5 条 この規程に定めるもののほか、表彰について必要な事項は理事会に諮り決定する。

附 則

1 この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 106 条第 1 項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 27 年 5 月 22 日から施行する。

10. 安全就業の心得

みんなで守ろう

10

カ条

1. **健康管理**に留意し、常に健康な状態で就業しましょう
2. 仕事の前日は**十分に睡眠**をとりましょう
3. 服装・履物・保護具は**仕事に適した**ものを着用しましょう
4. 仕事を始める前には**準備運動**をしましょう
5. 保護具や器具類は使用する前に**必ず点検**しましょう
6. 加齢による**身体の機能低下**を十分認識し、
無理をしないようにしましょう
7. 仕事をするときには急いだり、あわてたりせず、**安全第一**を心がけましょう
8. 就業の場は常に**整理整頓**を心がけましょう
9. 共同で仕事をするときには**合図・連絡を正確**に行いましょう
10. 行き帰りも仕事のうち、**交通事故に遭わない**ようにしましょう



11. 平成 30 年度安全就業の取組み

30 年度、連合会では県内全域で安全・適正就業を効果的かつ着実に実施するため、安全・適正就業委員会を中心に次のような活動を行いました。

① 安全・適正就業委員会(3回)、推進会議(2回)の開催

会員の安全の確保と適正就業の徹底を図るため、安全・適正就業についての基本方針や実効のある具体的な防止対策等について協議、検討を行いました。また、高齢者の自動車運転による交通事故が多発し社会問題になっていることから、全国シルバー人材センター事業協会の「高齢運転者等に係るガイドライン」に則り、「シルバー派遣による運転業務に係る安全就業基準」を作成しました。

② 安全・適正就業委員パトロール

7月の安全・適正就業強化月間に合わせ、安全・適正就業委員による安全パトロールを3班集体制(委員2人で1班)で実施して、県内6つのセンターの安全・適正就業の履行状況や健康管理への取組み状況と会員就業現場における安全就業状況の確認や指導・助言を行いました。

また、連合会パトロール推進員による巡回安全指導も行いました。



現場：個人宅庭
(指導内容；脚立の正しい使用方法)



現場：駐車場
(指導内容：車の移動を指示)

③ 「シルバー安全の日」の実施と「無事故達成記録ボード」の活用

毎月10日を「シルバー安全の日」に定め、①交通安全教室、②安全パトロール、③作業前の健康確認・安全チェック、④安全帽・安全带・保護具の着用運動を展開するとともに、各センターにおいて「無事故達成記録ボード」を設置するなどし、会員一人ひとりに安全に対する不断の意識づけを図りました。

④ 第12回安全就業推進大会(平成 30 年 7 月 24 日)

会員の安全に対する意識の向上と安全就業の推進を図るため、丸亀市総合文化会館アイレックス大ホールで開催して、県内全域から会員・役職員等約500名が参加されました。当日は募集していた安全就業標語(応募総数259点)の選考結果の発表と表彰式がありました。

最優秀作品 「お互いに 声かけ合って 安全就業」

表彰後、講演として香川県警察本部生活安全企画課安全・安心まちづくり教育隊による特殊詐欺被害防止の寸劇や、社会人落語家の落語が披露され意義ある大会となりました。



香川県シルバー人材センター連合会長 鶴川舜一 挨拶



安全標語 入賞者表彰



特殊詐欺防止 寸劇



落語 講演



長尾勲(丸亀SC会員) 安全就業宣言

⑤ チェーンソー取扱安全研修会(平成 30 年 8 月 28 日)

剪定・伐採等の作業中の事故抑止を図るため、綾川町総合運動公園で開催しました。

当日は、香川県樹木医ら講師二人により、学科と実技研修を行い、県内12センターから45名の会員等が参加されました。玉切り体験者からは、「思うように切っていくのは、なかなか難

しい。」とか「キックバックが起きないように、慎重な操作が必要と感じた。」など、今後も、いろいろな機械操作に関する研修の重要性を再認識しました。



学科研修



講師の器具操作説明



玉切り体験風景

⑥ 安全就業推進強化キャンペーンの実施

事故撲滅を推進するため、特に、事故が多い除草作業と剪定作業について、期間を定めてキャンペーンを行い、期間中に事故のなかったセンターを表彰しました。

- 1) 除草作業事故防止キャンペーン 6月1日～8月31日

表彰センター：綾川町 SC、多度津町 SC、土庄町 SC、小豆島町 SC、直島町 SC

- 2) 剪定作業事故防止キャンペーン 9月1日～11月30日

表彰センター：丸亀市 SC、坂出市 SC、観音寺市 SC、東かがわ市 SC、三豊市 SC、三木町 SC、宇多津町 SC、綾川町 SC、多度津町 SC、土庄町 SC、小豆島町 SC、直島町 SC

- 3) 交通安全啓発活動推進期間中の事故防止キャンペーン 6月1日～9月30日

⑦ 安全就業リーフレットの作成

各センターと共同で安全・適正就業啓発リーフレットを作成し、新入会員を中心に配布しました。

⑧ 安全就業に関するビデオ・DVDの貸出し

会員の安全意識の高揚を図るため、安全就業に関する映像ソフトの充実を図り、貸出しを行いました。

12. 安全に関するビデオ・DVD

会員が就業中・途上の災害事故から自分を守るために必要な知識・技能を身に付けるための教材「安全に関するビデオ・DVD一覧(令和元年7月 現在所蔵)」です。

講習・研修等あらゆる機会を活用してください。

【安全(就業)】

整理 No.	題 名	企画制作会社	所要時間	本数
1	健康でイキイキ 愛媛のシルバー 自分の命は自分で守る	(社)愛媛県シルバー 人材センター連合会	21分	1
2	除草作業の事故をなくそう	(社)愛媛県シルバー 人材センター連合会	29分	1
3	転倒災害はこうして防ぐ ～転ばぬ先の安全の知恵～	安全衛生映像研究所	17分	1
4	助かった！ ヘルメット・安全帯の底力!!	(社)日本保安用品協会	23分	1
5	脚立・梯子 墜落転落防止DVD 魔の一瞬 怪我をするのはあなた!《脚立・梯子編》	大阪低層住宅安全衛生協議会	25分	1
6	ハガにゃん教授の自分でできる ヒューマンエラー対策 PART3 安全の人間学 実践編 第1巻 勘違い～メカニズムと防止策～	株式会社ワイ・イーピー	25分	1
7	ハガにゃん教授の自分でできる ヒューマンエラー対策 PART3 安全の人間学 実践編 第2巻 物忘れ～メカニズムと防止策～	株式会社ワイ・イーピー	25分	1
8	建設安全ビデオシリーズ 夏の建設現場が危ない 熱中症の恐怖 -予防対策のポイント-	建設安全研究会	2枚組 作業員編17分 指導員編24分	1
28	危険の芽を摘もう！ 造園工事 災害事故例から学ぶ安全作業 〈作業員編〉	建設業労働災害防止協会	16分	1

【安全(交通)】

整理 No.	題 名	企画制作会社	所要時間	本数
9	いつまでも笑顔のまま 高齢者のための交通安全	警視庁	19分	1
29	人生の達人！ 高齢者いきいき安全運転	新生映画株式会社	25分	1

【教 材】

整理 No.	題 名	企画制作会社	所要時間	本数
12	庭木の健康管理 病虫害の上手な防除法	日本園芸協会	30分	1
13	庭木の手入れ マツ編 プロの手ほどきで、 庭木の手入れをマスター	日本園芸協会	23分	1
14	庭木の手入れ② 人気花木の整姿・剪定	日本園芸協会	38分	1
15	庭木の手入れ③ ウメの整姿・剪定	日本園芸協会	30分	1
16	庭木の手入れ④ 生垣と四ツ目垣	日本園芸協会	30分	1
17	シルバー人材センター技能職教材 塗装の仕方	(社)全国シルバー人材 センター事業協会	41分	1
30	刈払機の安全作業	林業・木材製造業 労働災害防止協会	21分	1
31	振動障害を予防するために ～チェーンソーの使い方～ ～刈払機の使い方～	林業・木材製造業 労働災害防止協会	22分 15分 25分(共通)	1
32	チェーンソーの安全な操作	林業・木材製造業 労働災害防止協会	21分	1

